

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公開番号】特開2008-3393(P2008-3393A)

【公開日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-001

【出願番号】特願2006-174138(P2006-174138)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/08 5 0 4

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月22日(2009.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

現像剤を担持し、像担持体に形成された静電像を現像剤で現像する現像剤担持体と、この現像剤担持体に担持された現像剤の量を規制するための現像剤量規制手段と、を有する現像装置において、

前記現像剤量規制手段は、前記現像剤担持体と当接する当接部を有する可撓性の現像剤量規制部材と、前記当接部が前記現像剤担持体に当接するように前記現像剤量規制部材を保持する保持部材と、を備え、

前記現像剤量規制手段は、前記現像剤量規制部材を前記現像剤担持体に押圧して、前記当接部における前記現像剤担持体の回動方向の圧分布において極大値が2つ存在するよう前記現像剤量規制部材を変形させるように構成されていることを特徴とする現像装置。

【請求項2】

前記現像剤量規制部材はシート状であり、前記保持部材にU字形状に保持されることを特徴とする請求項1の現像装置。

【請求項3】

前記現像剤量規制部材はシート状であり、前記保持部材にL字形状に保持されることを特徴とする請求項1の現像装置。

【請求項4】

前記現像剤量規制部材は可撓性チューブ部材であることを特徴とする請求項1の現像装置。

【請求項5】

画像形成装置に着脱可能であり、請求項1乃至4のいずれかの現像装置を含むことを特徴とするカートリッジ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

上記目的を達成するために、本発明は、現像剤を担持し、像担持体に形成された静電像

を現像剤で現像する現像剤担持体と、この現像剤担持体に担持された現像剤の量を規制するための現像剂量規制手段と、を有する現像装置において、前記現像剂量規制手段は、前記現像剤担持体と当接する当接部を有する可撓性の現像剂量規制部材と、前記当接部が前記現像剤担持体に当接するように前記現像剂量規制部材を保持する保持部材と、を備え、前記現像剂量規制手段は、前記現像剂量規制部材を前記現像剤担持体に押圧して、前記当接部における前記現像剤担持体の回動方向の圧分布において極大値が2つ存在するよう前記現像剂量規制部材を変形させるように構成されていることを特徴とする現像装置である。